

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年1月23日

協議会名: 陸前高田市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
基石観光(株)	広田線 広田半島線	【前回の評価結果】 令和4年度新規事業のため、 前回事業評価なし。 【評価結果の反映状況】	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B 広田線 【目標値】4.0人/回【実績値】3.4人/回【達成率】85% 令和4年4月から経路変更した路線であり、コロナの影響に加えて周知の不足が原因と思われる。	ダイヤ改正に係る時刻表の全戸配付をはじめとした周知に努めるとともに、高校生の登校について利便性向上を図る。
				C 広田半島線 【目標値】4.0人/回【実績値】1.5人/回【達成率】37.5% 令和4年4月に、循環路線から直線路線に変更した路線であり、コロナの影響に加えて、周知の不足及び沿線の利用人口の減少が原因と思われる。	ダイヤ改正に係る時刻表の全戸配付をはじめとした周知に努めるとともに、高校生の登校について利便性向上を図る。
(株)気仙タクシー 高田タクシー(有)	長部今泉線 たかたコミュニティバス西部線 デマンド交通中平・坂下・小黒山エリア デマンド交通気仙エリア ※補助対象事業者が2週間交替で運行	【前回の評価結果】 令和4年度新規事業のため、 前回事業評価なし。 【評価結果の反映状況】	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B 長部今泉線 【目標値】2.0人/回【実績値】1.7人/回【達成率】85% コロナの影響に加えて、沿線の利用人口の減少が原因と思われる。	ダイヤ改正に係る時刻表の全戸配付をはじめとした周知に努めるとともに、目標達成に向け、災害公営住宅などにおいてデマンド交通気仙エリアと一体となったPRを実施する。
				C たかたコミュニティバス西部線 【目標値】2.0人/便【実績値】0.4人/便【達成率】20% 令和4年4月から循環2路線を統合してできた路線であるが、コロナの影響や周知の不足に加えて、経路がやや複雑でとつきにくいことも要因と考えられる。	本市中心部を運行する路線であり一定の便数を確保したが、BRTを含め他の交通手段が存在していることも相まって利用が伸びなかった。経路の重なる路線との統廃合、複雑な経路の整理、便数の調整を行い、運行の効率性を高めることとする。
				C デマンド交通中平・坂下・小黒山エリア 【目標値】2.0人/便【実績値】1.0人/便【達成率】50% 令和4年4月から、定期運行を廃止してデマンドタクシーに移行したものであり、周知の不足が原因と思われる。	中平・坂下・小黒山エリアに絞ったデマンド交通のPRを実施し、登録者の掘り起こしと利用の拡大を図る。
				B デマンド交通気仙エリア 【目標値】2.0人/便【実績値】1.6人/便【達成率】80% コロナの影響に加えて、沿線の利用人口の減少が原因と思われる。	目標達成に向け、災害公営住宅などにおいて長部今泉線と一体となったPRを実施する。
(有)高田交通	デマンド交通小友・広田エリア	【前回の評価結果】 令和4年度新規事業のため、 前回事業評価なし。 【評価結果の反映状況】	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B デマンド交通小友・広田エリア 【目標値】2.5人/便【実績値】2.0人/便【達成率】80% 登録者自体は増加しており、コロナの影響に加えて、周知の不足が原因と思われる。	目標達成に向け、小友・広田エリアに絞ったデマンド交通のPRを実施するとともに、出前講座などを通じて登録者に対する利用の働きかけに努める。

※枠の大きさの変更は可能です。